

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 7 月 11 日 (2013.7.11)

【公開番号】特開 2011-244035 (P2011-244035A)

【公開日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【年通号数】公開・登録公報 2011-048

【出願番号】特願 2010-111645 (P2010-111645)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/16 (2011.01)

H 0 4 H 20/59 (2008.01)

H 0 4 H 40/27 (2008.01)

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 H 60/40 (2008.01)

【F I】

H 0 4 N 7/16 E

H 0 4 H 20/59

H 0 4 H 40/27

H 0 4 B 1/16 M

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 H 60/40

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 4 月 26 日 (2013.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放送番組に係る映像信号あるいは音声信号及び放送時刻情報を含むデジタル放送信号と、地震動警報情報を伝送するための A C 信号とを有する伝送信号を受信するデジタル放送受信装置であって、

前記伝送信号を受信する受信部と、

前記受信部で受信された伝送信号から前記デジタル放送信号を復調し、出力する第 1 の復調部と、

前記受信部で受信された伝送信号から前記 A C 信号を復調する第 2 の復調部と、

前記第 2 の復調部で復調された A C 信号を受信し、地震動警報情報信号を抽出する地震動警報情報抽出部と、

前記第 1 の復調部から出力されるデジタル放送信号から前記放送時刻情報を抽出し、当該放送時刻情報に基づき、現在時刻を補正する時計部と、

前記地震動警報情報抽出部で抽出された前記地震動警報情報信号に含まれる時刻情報と、前記時計部の現在時刻を比較し、時刻の差分が所定値以内かどうかを判定する時刻比較部と、

前記時刻比較部で時刻の差分が所定値以内であれば、前記地震動警報情報抽出部で抽出された前記地震動警報情報信号を出力する出力部と、
を備え、

前記時計部の現在時刻は、前記第 1 の復調部で復調されるデジタル放送信号のうち、現

在選局している放送番組よりも前に選局していた放送番組に係る前記放送時刻情報を用いて補正されることを特徴とするデジタル放送受信装置。

【請求項 2】

放送番組に係る映像信号あるいは音声信号及び放送時刻情報を含むデジタル放送信号と、地震動警報情報を伝送するための A C 信号とを有する伝送信号を受信するデジタル放送受信方法であって、

前記伝送信号を受信する受信ステップと、

前記受信ステップで受信された伝送信号から前記デジタル放送信号を復調し、出力する第1の復調ステップと、

前記受信ステップで受信された伝送信号から前記 A C 信号を復調する第 2 の復調ステップと、

前記第 2 の復調ステップで復調された A C 信号を受信し、地震動警報情報信号を抽出する地震動警報情報抽出ステップと、

前記第 1 の復調ステップから出力されるデジタル放送信号から前記放送時刻情報を抽出し、当該放送時刻情報に基づき、現在時刻を補正する時刻補正ステップと、

前記地震動警報情報抽出ステップで抽出された前記地震動警報情報信号に含まれる時刻情報と、前記時計部の現在時刻を比較し、時刻の差分が所定値以内かどうかを判定する時刻比較ステップと、

前記時刻比較ステップで時刻の差分が所定値以内であれば、前記地震動警報情報抽出ステップで抽出された前記地震動警報情報信号を出力する出力ステップと、
を備え、

前記時計ステップの現在時刻は、前記第 1 の復調部で復調されるデジタル放送信号のうち、現在選局している放送番組よりも前に選局していた放送番組に係る前記放送時刻情報を用いて補正されることを特徴とするデジタル放送受信方法。

【請求項 3】

複数のチャンネルに係る映像信号あるいは音声信号及び放送時刻情報を含むデジタル放送信号と、地震動警報情報を伝送するための A C 信号とを有する伝送信号を受信するデジタル放送受信装置であって、

前記伝送信号を受信する受信部と、

前記受信部で受信された伝送信号から前記デジタル放送信号を復調し、出力する第1の復調部と、

前記受信部で受信された伝送信号から前記 A C 信号を復調する第 2 の復調部と、

前記第 2 の復調部で復調された A C 信号を受信し、地震動警報情報信号を抽出する地震動警報情報抽出部と、

前記第 1 の復調部から出力されるデジタル放送信号から前記放送時刻情報を抽出し、当該放送時刻情報に基づき、現在時刻を補正する時計部と、

前記地震動警報情報抽出部で抽出された前記地震動警報情報信号に含まれる時刻情報と、前記時計部の現在時刻を比較し、時刻の差分が所定値以内かどうかを判定する時刻比較部と、

前記時刻比較部で時刻の差分が所定値以内であれば、前記地震動警報情報抽出部で抽出された前記地震動警報情報信号を出力する出力部と、
を備え、

前記時計部の現在時刻は、前記第 1 の復調部で復調されるデジタル放送信号のうち、複数のチャンネルに係る前記放送時刻情報を用いて補正されることを特徴とするデジタル放送受信装置。

【請求項 4】

複数のチャンネルに係る映像信号あるいは音声信号及び放送時刻情報を含むデジタル放送信号と、地震動警報情報を伝送するための A C 信号とを有する伝送信号を受信するデジタル放送受信方法であって、

前記伝送信号を受信する受信ステップと、

前記受信ステップで受信された伝送信号から前記デジタル放送信号を復調し、出力する第1の復調ステップと、

前記受信ステップで受信された伝送信号から前記 A C 信号を復調する第 2 の復調ステップと、

前記第 2 の復調ステップで復調された A C 信号を受信し、地震動警報情報信号を抽出する地震動警報情報抽出ステップと、

前記第 1 の復調ステップから出力されるデジタル放送信号から前記放送時刻情報を抽出し、当該放送時刻情報に基づき、現在時刻を補正する時刻補正ステップと、

前記地震動警報情報抽出ステップで抽出された前記地震動警報情報信号に含まれる時刻情報と、前記時計部の現在時刻を比較し、時刻の差分が所定値以内かどうかを判定する時刻比較ステップと、

前記時刻比較ステップで時刻の差分が所定値以内であれば、前記地震動警報情報抽出ステップで抽出された前記地震動警報情報信号を出力する出力ステップと、
を備え、

前記時計ステップの現在時刻は、前記第 1 の復調ステップで復調されるデジタル放送信号のうち、複数のチャンネルに係る前記放送時刻情報を用いて補正されることを特徴とするデジタル放送受信方法。